

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

長崎市長 鈴木 史朗

市町村名 (市町村コード)	長崎市 (201)
地域名 (地域内農業集落名)	太田尾・飯香浦 (山川河内、太田尾、向、片峰)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 7 年 1 月 15 日 (第 2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・「いちご」や「びわ」、「花き類」、「畜産」などを中心に多様な品目が生産されており、担い手が多く施設栽培が盛んな地域であるが、農地が狭小で点在しているため、高齢化等により耕作放棄地や遊休施設が増加している。
 ・集落として水不足が懸念される地域であり、過去に畑地かんがい施設が整備されたが、整備から30年以上が経過しており、ポンプやタンクの老朽化に伴う継続利用の経費が負担となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・いちご・花き等の安定生産に引き続き取り組むとともに、県やJAと連携を図りながら、さらなる高収量・省力化品種について導入を検討し、推進する。
 ・老朽化したハウスの長寿命化や水利施設の適正管理に努め、後継者を中心とした担い手が安定した農業経営が行える環境づくりを進めるとともに、グリーンツーリズム体験メニューの充実など、外部から人を呼び込める環境整備を図り、農地の流動化と集落の活性化につなげていく。
 ・規模拡大意向のある担い手への農地の集積・集約化を進めつつ、地域外の認定農業者、認定新規就農者を受け入れることで、地域全体で農地の活用を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	169.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	169.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

今後も農地として活用する見込みのある農振農用地区域内の農地及び地域の担い手が活用する農業振興地域内の農地とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地中間管理機構を活用し、地域の農業を担う者への農地の集約を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の更なる周知を図りながら、農業を担う者への貸し付け・継承を進め、将来の経営農地の集約化及び農地の利用集積を推進する。
(3)基盤整備事業への取組方針
・補助事業活用等による老朽化した畑地かんがい施設等の適正管理に努めるとともに、農地耕作条件改善整備事業や市単独の担い手農家支援特別対策事業を活用した小規模の基盤整備(狭地なおしや耕作道整備)の取組みを検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・グリーンツーリズム等の推進により、都市と農村部の新たな交流機会を創出し、地域内外から産地の担い手となる多様な経営体を募り、関係機関と連携して経営安定に向けた取組を進めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・いちごのパック詰め作業は、経営に応じJA長崎せいひ東長崎いちごパッケージセンターへの委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①地域ぐるみの捕獲隊を中心とした捕獲活動や、既存のワイヤーメッシュ柵の維持管理や新たな被害箇所への新設に取り組む。
- ③環境制御装置等の導入推進により施設園芸の高度化を図る。